



上越支所だより
ダウンロードページ



上越支所だより

特集

福祉教育の活用～今の活動に^{プラス}社協～

福祉の意識づけを目的に推進している福祉教育。合併前上越市内では学校や地域、団体等で取組が進められています。今回は、学校教育の中で実施した福祉教育を紹介します。

高田北城高等学校（生活文化科 福祉コース2・3年生）

福祉・医療系を就職先に見据え、学んでいる生徒の多い福祉コース。今後の授業や進路で活用できるように様々な体験やゲストティーチャーによる手話講話、福祉用具講話を盛り込み実施しました。

福祉教育として、教科書の知識を越えた、より実践的な知識や技術を学ぶ機会を提供できました。



当事者の心身の状態、配慮点について学ぶ
「高齢者疑似体験・車いす体験」



望ましい対応をグループで考える
「認知症サポーター養成講座」



上越市ろう協会さんによる
「手話講話」

発展



家庭クラブとして、上越市ろう協会さんへ
手作りのコミュニケーションボード*をプレゼント！
*コミュニケーションを文字やイラストで補助する道具

春日新田小学校（総合学習 3年生）「みんなにやさしいまち春日新田をつくろう」

小学校では、ICTを活用して「みんなにやさしい町」を考えました。導入として自分の地域に住む方々の生活や困り感を知りました。

そして、マイクロビットを活用し役立つ道具を考え、提案しました。ICT教育と福祉が融合する学習となりました。



「高齢者・車いす体験」



地域にはいろいろな方が住んでいる。相手の立場で感じた町の使いやすさを考えました。



「地域にお住まいの視覚・聴覚障がい・高齢者との交流」



発展



子供たちが「光る」「音が鳴る」をマイクロビットにプログラミングし、ICTとの融合による「役立つ道具」を提案します。

生活の中で工夫していることや道具があること…子供たちは「互いを認める心」「あったらいいサポート」などを知りました。

おとなも子どもも…学校や会社・地域でも！ (プラス) なぜ？ + 社協の「福祉教育」



地域福祉を推進する社協は
地域と学校・関係団体・企業の
プラットフォームを構築して
学びをお手伝いします。



社協が行う福祉教育とは…「思いやりの心もち、共に育ち、共に生きるための福祉の心を育む」
様々な取り組みです。取り組みを通して地域の様々な福祉課題を他人事とせず、我が事と
して地域・住民で考えていく福祉観を醸成することが求められています。

地域共生社会の実現を目指す上でも…

これからの（地域・学校・企業）における福祉教育の重要性はますます高まっています。

抜粋：全国社会福祉協議会資料より

上越市社協が福祉教育を通して目指す人物像
お互いを認め、支え合う関係を築ける人

1. お互いの違いや同じを認め合える
2. その人のもつ「弱さ」と「強さ」に気づくことができる
3. その人らしい生き方をサポートする

「ふくし」を知る事で
学びに、広がり
期待できます。



実践は表面へ

※研修会中止のお知らせ※

第5号で告知いたしました「サロン活動者を対象にした研修・交流会」は感染症予防の観点から中止といたします。楽しみにしていただいていた皆様には大変申し訳ありません。

令和4年度 ボランティア活動保険に関するお知らせ

毎年、当会ではボランティア活動中の事故に備え、ボランティア活動保険の加入をすすめています。

令和4年度も安心してボランティア活動が行えるようご検討ください。ボランティア活動保険の加入期間は年度毎であり、令和4年度分のお手続きも現在、開始となっております。また加入に際し、当会ボランティアセンターへの登録が年度毎必要となります。

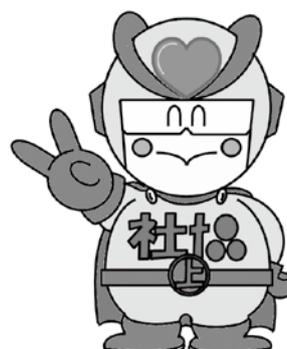
皆様のご意見を

お待ちしております

上越支所

〒943-0806
上越市木田新田1-1-3
上越総合福祉センター内3階
電話 526-1515
FAX.526-1230

上越市社会福祉協議会



問 右の絵と左の絵で
違いが5つあります。探
してみてください。

脳トレチャレンジ